

東日本大震災追悼法要営む

東京・築地本願寺 東北・仙台別院

築地本願寺

東日本大震災から11年を迎えた3月11日、築地本願寺（東京都中央区）は東日本大震災追悼法要を営んだ。阿弥陀経をおつとめする中、参拝者が焼香（写真）。東森尚人副宗務長が挨拶した。

参拝した埼玉県和光市の牧田忍さん（51）は「福島県南相馬市の知人は原発事故により避難を余儀なくされ、町



は壊滅し一家も離散した。個人としては何市にいて地震に遭ってもできないので、せめた。妹2人が宮城県名

てお参りさせていただけができた。お寺さんへのお参りが第一。そこから始まるから」と思いを語った。

埼玉県春日部市の相原英子さん（82）は「震災の日、私はたまたま実家のある宮城県塩竈市にいて地震に遭っ

た。お参りして、法要の様子はユーチューブで生配信した。

仙台別院

取市の閑上（ゆりあげ）津波に遭って

亡くなった。仙台別院（仙台市青葉区）は3月11日午後

ともあり、毎2時46分から、阿弥陀年築地本願寺経のおつとめを行う。にお参りして、

いる。来年は、震災犠牲

13回忌。田舎者「月命日」にあたる

に帰って法事 毎月11日に、境内に焼

をしたと思 香台を設置しており、

っている。年 この日も、朝から通行

を取って今日 人や市民が焼香し、手

は、やっとの思 を合わせる姿が見られ

いだが来るこた。